

第381回 昭和大学学士会例会 (医学部会主催)

日時 2022年5月28日(土) 13:30~14:50

場所 昭和大学4号館 301号教室, 302号教室

運営担当 生化学, 呼吸器アレルギー内科学, 糖尿病・代謝・内分泌内科学,
心臓血管外科学, 消化器一般外科学, 小児外科学, 産婦人科学,
放射線科学, 麻酔科学

研究紹介講演

食物アナフィラキシーにおける新規アレルゲン探索とその臨床応用

昭和大学医学部皮膚科学講座
猪又 直子

近年, 食物アレルギーは増加傾向であるが, 成人期, 特にアナフィラキシーに至る重症例の特徴やアレルゲンはいまだ十分に解明されていない。

これまで, わが国の食物アナフィラキシーの現状について疫学調査を行い, 一方で分子工学を駆使しながらアレルゲンを基礎的に探索してきた。2012年に納豆 poly g-glutamic acid (PGA), 2017年に梅 Pru m 7, 2018年にオレンジ Cit s 7, 2019年にサクランボ Pru av 7を新規アレルゲンとして同定し, 果物アレルゲンはWHO/IUIS Allergen Nomenclature Sub-Committeeへの国際登録を果たし, 臨床応用を進めている。

日本の伝統食品である納豆は, 摂取してから半日後に発症する遅発性アナフィラキシーの臨床像をとる。遅発性であるがゆえに食物との因果関係を推定しがたいが, PGAを臨床検査へ応用することで診断効率が向上した。また, PGAを主要抗原と同定したことに端を発し, 刺胞動物が感作源となり, サーフィン歴が本症のリスクになることも明らかになった。

果物アレルギーは, 花粉との交差反応で生じる口腔アレルギー症候群として軽症な食物アレルギーの代表とされてきたが, 抗菌ペプチドの一種 Gibberellin-regulated protein (GRP)が重症化に関わることを明らかにした。桃や日本固有の梅干しのアナフィラキシーも GRPが原因になる。現在, GRPは

重症化のほか, 食物依存性運動誘発アナフィラキシーや花粉—食物アレルギー症候群など複数の臨床型に関与する特殊なアレルゲンとして注目を集めている。

本講演では, 食物アレルギーガイドライン2021年版にも新たに記載された, これらの新規アレルゲンについて解説する。

一般演題

1. 2型自然リンパ球 (Group2 innate lymphoid cells: ILC2s) は腎間質線維化を軽減する

¹⁾ 昭和大学医学部微生物学免疫学講座

²⁾ 昭和大学医学部内科学講座 (腎臓内科学部門)

長島 隆一¹⁾, 石川 裕樹¹⁾

久野 芳裕^{1,2)}, 幸田 力¹⁾

伊與田雅之^{1,2)}

【発表内容掲載論文】

Cytokine. 2022;157:155963.

2. 終末糖化産物メチルグリオキサリド
ロイミダゾールの心血管障害作用の解明
と治療応用

- ¹⁾ 昭和大学医学部内科学講座（糖尿病・代謝・内
分泌内科学部門）
²⁾ 昭和大学医学部抗糖化寄付講座
大坂 直也¹⁾，森 雄作²⁾
寺崎 道重¹⁾，広村 宗範¹⁾
八島 広典¹⁾，小原 信¹⁾
福井 智康¹⁾，山岸 昌一¹⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

3. 血管内皮細胞においてカルパインを介し
た遊離アミノ酸のタンパク質分解産生は
肥満誘発性脂肪肝を増強する

- ¹⁾ 昭和大学大学院医学研究科生理系生化学専攻
²⁾ 昭和大学医学部生化学講座
赤須里沙子^{1,2)}，宮崎 拓郎²⁾
原口 省吾²⁾，宮崎 章²⁾

【発表内容掲載論文】

J Biol Chem. 2022;298:101953.

4. アトピー性皮膚炎に対してのデュピルマ
ブによる治療は臨床症状や好酸球増多を
含む血液学的症状を改善する

- ¹⁾ 昭和大学大学院医学研究科内科系皮膚科学専攻
²⁾ 昭和大学医学部皮膚科学講座
³⁾ 昭和大学江東豊洲病院皮膚科
⁴⁾ 昭和大学横浜市北部病院皮膚科
山内 輝夫^{1,2,3)}，佐々木 駿²⁾
李 殷先²⁾，田村 崇行²⁾
小林 香映²⁾，猿田 祐輔²⁾
北見 由季²⁾，末木 博彦²⁾
渡辺 秀晃^{2,4)}

【発表内容掲載論文】

Int J Dermatol. 2021;60:190-195.

5. 【取下げ】

6. 発作性心房細動に対する拡大肺静脈隔離
および BOX 隔離の臨床転帰

- ¹⁾ 昭和大学大学院医学研究科内科系内科学（循環
器内科学分野）専攻
²⁾ 昭和大学横浜市北部病院循環器内科
小野 盛夫^{1,2)}，岡部 俊孝²⁾
井川 渉²⁾，飛鳥井 邑²⁾
斎藤 淳平²⁾，大山 祐司²⁾
山下賢之介²⁾，山本 明和²⁾
磯村 直栄²⁾，落合 正彦²⁾

【発表内容掲載論文】

Showa Univ J Med Sci. 2022;34:117-124.

7. 急性心不全患者における入院後早期の収
縮期血圧低下と腎機能増悪，院内死亡と
の関係

- ¹⁾ 昭和大学大学院医学研究科内科系内科学（循環
器内科学分野）専攻
²⁾ 昭和大学横浜市北部病院循環器内科
木戸 岳彦^{1,2)}，岡部 俊孝²⁾
成井 崇朗²⁾，薄元宗一郎²⁾
飛鳥井 邑²⁾，木村 太朗²⁾
嶋津 英²⁾，斎藤 淳平²⁾
大山 祐司²⁾，井川 渉²⁾
小野 盛夫²⁾，荏原誠太郎²⁾
山本 明和²⁾，磯村 直栄²⁾
落合 正彦²⁾

【発表内容掲載論文】

Heart Vessels. 2022; in press.

8. 入院中のインターフェロノン遊離試験では判定不可が増加する

- 1) 昭和大学大学院医学研究科内科系内科学（呼吸器アレルギー内科学分野）専攻
- 2) 昭和大学医学部内科学講座（呼吸器アレルギー内科学部門）
- 3) 昭和大学藤が丘病院呼吸器内科
刑部 優希^{1,2,3)}, 山口 史博^{2,3)}
依田はるか^{2,3)}, 平岩 三奈^{2,3)}
小野崎翔太^{2,3)}, 張 秀一^{2,3)}
清水 翔平^{2,3)}, 藤嶋 彬^{2,3)}
間瀬 綾香^{2,3)}, 井上 大輔^{2,3)}
山崎 洋平^{2,3)}, 楯野 英胤^{2,3)}
横江 琢也^{2,3)}, 鹿間 裕介^{2,3)}

【発表内容掲載論文】

Ther Adv Respir Dis.

2022;16:17534666221077817.

9. 呼吸リズムが身体認知を形成する

- 1) 昭和大学大学院医学研究科生理系生理学（生体調節機能学分野）専攻
- 2) 昭和大学医学部生理学講座（生体調節機能学部門）
- 3) 昭和大学藤が丘病院呼吸器内科
小菅 美玖^{1,2)}, 本間 元康²⁾
政岡 ゆり²⁾, 小菅 将太^{1,2)}
鹿間 裕介³⁾, 泉崎 雅彦²⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

10. 底つき体験がアルコール依存症治療の精神科外来通院継続に与える影響

- 1) 昭和大学大学院医学研究科内科系精神医学専攻
- 2) 昭和大学医学部精神医学講座
須藤 英隼^{1,2)}, 常岡 俊昭²⁾
小野英里子²⁾, 山田 真理²⁾
高塩 理²⁾, 岩波 明²⁾

【発表内容掲載論文】

昭和学士会雑誌. 2022;82: 印刷中

11. 成人期自閉スペクトラム症の生活、修学、就労状況に関する診療録調査

- 1) 昭和大学大学院医学研究科内科系精神医学専攻
- 2) 昭和大学医学部精神医学講座
- 3) 昭和大学発達障害医療研究所
西尾 崇志^{1,2)}, 太田 晴久^{2,3)}
中村 善文²⁾, 林 若穂²⁾
山田 真理²⁾, 加藤 進昌³⁾
岩波 明²⁾

【発表内容掲載論文】

精神科. 2022;40:870-877.

12. 精神科外来における便秘症についての検討：多施設アンケート調査より

- 1) 昭和大学大学院医学研究科内科系精神医学専攻
- 2) 昭和大学医学部精神医学講座
- 3) 昭和大学附属烏山病院精神科
- 4) 昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター
- 5) 昭和大学病院附属東病院精神神経科
佐藤諒太郎^{1,2,5)}, 山田 浩樹^{2,4)}
石井 弘毅^{1,2,5)}, 石川 文徳^{1,2,5)}
中村 暖^{2,3)}, 徳増 卓宏^{2,4)}
田玉 紘史^{1,2,5)}, 高塩 理^{2,5)}
稲本 淳子^{2,4)}, 岩波 明^{2,3)}

【発表内容掲載論文】

臨精薬理. 2022;25:551-562.

13. 慢性期脳卒中片麻痺患者に対する短下肢装具の機能の違いが歩行の時間・距離因子に与える即時効果

- 1) 昭和大学大学院医学研究科内科系リハビリテーション医学専攻
- 2) 昭和大学医学部リハビリテーション医学講座
- 3) 藤田医科大学医学部リハビリテーション医学 I 講座
野尻 恵里^{1,2)}, 和田 義敬^{2,3)}
望月 碧²⁾, 杉山みづき²⁾
川手 信行²⁾

【発表内容掲載論文】

J Phys Ther Sci. 2022;34:485-491.

14. セメントレス人工股関節全置換術における術中臼蓋コンポーネント周囲骨折と Hounsfield unit 値の関連

¹⁾ 昭和大学大学院医学研究科外科系整形外科学専攻

²⁾ 昭和大学医学部整形外科学講座

西 正 智^{1,2)}, 岡野 市郎²⁾

吉川 泰司²⁾, 白井 勇樹²⁾

稲垣 克記²⁾

【発表内容掲載論文】

Arthroplasty Today. 2022;14:216-222.el.

15. 関節リウマチ患者における転倒発生と転倒リスク薬剤の関連性の検討

¹⁾ 昭和大学大学院医学研究科内科系内科学（リウマチ・膠原病内科学分野）専攻

²⁾ 昭和大学江東豊洲病院薬剤部

³⁾ 昭和大学医学部内科学講座（リウマチ・膠原病内科学部門）

櫻井 康亮^{1,2,3)}, 矢嶋 宣幸³⁾

柳井 亮³⁾, 笠間 毅³⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

16. 重症胎児発育不全に伴う胎盤性モザイクの出生前検査の検討

¹⁾ 昭和大学大学院医学研究科外科系産婦人科学専攻

²⁾ 昭和大学医学部産婦人科学講座

³⁾ 昭和大学大学院保健医療学研究科

⁴⁾ 昭和大学病院臨床遺伝医療センター

宮上 景子^{1,2)}, 白土なほ子²⁾

和泉美希子^{2,4)}, 廣瀬 達子^{2,3,4)}

安井 理²⁾, 濱田 尚子²⁾

松岡 隆²⁾, 関沢 明彦²⁾

【発表内容掲載論文】

Reprod Sci. 2022;29:896-903.